

オランダ

Kingdom of the Netherlands

	2014年	2015年	2016年
①人口: 1,698万人(2016年)			
②面積: 4万1,543km ² (2016年)			
③1人当たりGDP: 4万5,283米ドル(2016年)			
④実質GDP成長率(%)	1.4	2.0	2.2
⑤消費者物価上昇率(%)	1.0	0.6	0.3
⑥失業率(%)	7.4	6.9	6.0
⑦貿易収支(100万ユーロ)	75,918	76,147	78,544
⑧経常収支(100万ユーロ)	58,945	59,568	58,696
⑨外貨準備高(グロス)(100万米ドル)	19,307	17,341	13,342
⑩対外債務残高(グロス)(100万ユーロ)	3,569,531	3,651,964	3,660,371
⑪為替レート(1米ドルにつき、ユーロ、期中平均)	0.7537	0.9017	0.9040

[注] ⑥: 15~75歳、⑦: 国際収支ベース(財のみ)

[出所] ①②④~⑥: オランダ中央統計局(CBS)、③⑨⑩: IMF、⑦⑧⑪: オランダ国立銀行(DNB)

2016年のオランダの実質GDP成長率は、堅調な内需と輸出に牽引され、2015年を上回る2.2%の成長を記録した。英国の国民投票でEU離脱が選択されたことにより、オランダ経済への影響が懸念されたが、その影響はまだ現れていない。輸出では、天然ガス生産制限の影響よりオランダ産品の輸出が減少する一方、主としてユーロ圏外から輸入したものをユーロ圏に輸出する再輸出は引き続き拡大した。

■住宅投資がけん引し、内需がさらに拡大

2016年のオランダの実質GDP成長率は2.2%と2015年の2.0%を上回った。2016年6月の英国のEU離脱か残留かを問う国民投票結果を受けて、英国との貿易面での結びつきが強いオランダは、下期に経済成長が減速するとみられていた。しかし、影響はほとんどなく、下期も好調を維持した。GDP成長率の内訳をみると、4割強を占める民間最終消費支出が前年比1.8%増、総固定資本形成は民間部門がけん引し4.8%増と、内需が堅調であった。また、輸出は2015年の5.0%から低下したものの3.4%増と好調であったことも経済成長に寄与した。国内総固定資本形成では、住宅投資が18.5%増と好調で、家具や家電製品などの耐久・半耐久消費財への支出拡大につながった。産業別でも建設業は高い伸びを見せ、製造業、商業・運輸なども好調であった。しかし、鉱業は天然ガス生産の制限により10.6%減となった。

■貿易黒字額は前年を上回る

2016年のオランダの輸出額は、前年比1.2%増の4,323

表1 オランダの需要項目別実質GDP成長率

	2015年	2016年					2017年
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	
実質GDP成長率	2.0	2.2	1.5	2.3	2.5	2.5	3.4
民間最終消費支出	1.8	1.7	1.3	1.1	1.9	2.6	1.6
政府最終消費支出	0.2	1.0	0.6	1.3	0.7	1.5	1.6
国内総固定資本形成	9.9	4.8	7.2	6.8	7.2	△1.0	6.7
財貨・サービスの輸出	5.0	3.4	4.6	4.0	2.8	2.5	4.7
財貨・サービスの輸入	5.8	3.7	6.4	4.3	3.1	1.3	4.1

[注] 四半期の伸び率は前年同期比。家計最終消費支出にはNPISHs(対家計民間非営利団体)を含む。

[出所] オランダ中央統計局(CBS)

億4,200万ユーロ、輸入額は0.7%減の3,805億6,900万ユーロであった。

オランダの輸出額の43.7%を占める再輸出は前年比5.0%増の1,890億2,400万ユーロだった。一方、オランダ産品の輸出額は1.6%減の2,433億1,800万ユーロとなった。オランダ産品の輸出で最も金額の大きい品目は、機械類・輸送機器(構成比23.4%)で、次いで化学製品(18.5%)、食料品および動物(17.7%)となった。オランダは天然ガス産出国であるが、生産制限により輸出は年々減少している。2014年にはオランダ産品の輸出の20.4%を占めていた鉱物性燃料、潤滑油は2016年には13.7%に低下した。再輸出品目でも、機械類・輸送機器(構成比35.9%)が最も多く、次いで化学製品(17.2%)、雑製品(16.6%)となっている。

地域別・国別で輸出を見ると、EU向け(構成比72.0%)が0.8%増、米州向け(7.2%)が0.4%増とわずかな伸びにとどまったものの、アジア大洋州向け(12.6%)は7.9%増と好調であった。

EU向けでは、ドイツ(22.7%)が0.9%減、ベルギー(10.1%)が2.2%減と減少したのに対し、英国(9.1%)は2.9%増、フランス(8.2%)は2.9%増と増加した。ドイツ、ベルギー向け輸出では、鉱物性燃料、潤滑油がそれぞれ21.2%減、22.9%減となったことが主な要因であった。フローニンゲン州の天然ガス田の生産制限による影響を受けたとみられる。一方、英国向け輸出では、鉱物性燃料などが14.3%増、化学製品4.4%増となった。また機械類・輸送用機器は0.9%増であったものの、そのうち道路

車両は 39.3%増と大幅に増加した。フランス向けでは化学製品が 7.2%減、鉱物性燃料などが 14.6%減と減少したものの、製造たばこの 75.7%増を中心として飲料およびたばこが 53.4%増、道路用車両 18.7%増や通信・音声記録・再生機器 7.0%増といった機械類・輸送用機器が 6.2%増と増加した。イタリア向け(4.2%)は 1.7%増、スペイン向け(3.0%)は 3.4%増、ポーランド向け(2.5%)は 3.7%増となった。

米州地域向けでは、米国(4.1%)が 1.4%減となった。光学・医療用機器などを中心に雑製品が 20.0%増となったものの、4 割近くを占める機械類・輸送用機器が 5.5%減、化学製品が 10.3%と減少したためである。

アジア大洋州向け(12.6%)では、中国(2.3%)が 15.7%増、シンガポール(1.1%)が 21.9%増など増加したものの、日本(0.8%)、韓国(1.0%)は減少した。中国向け輸出では、食肉・同調整品や酪農品、鳥卵などの食料品および動物が 49.4%増となったほか、特定産業用特殊機械類や道路用車両などを中心とする機械類・輸送用機器が 21.6%増、金属製品が 79.1%増、非鉄金属が 2.3 倍など、工業製品が増加した。

輸入を品目別にみると、機械類・輸送用機器(構成比 32.0%)が前年比 3.5%増、雑製品(13.5%)が 6.0%増、食料品および動物(10.2%)が 2.1%増と増加したものの、原油価格の低下などにより鉱物性燃料、潤滑油(14.4%)が 14.7%減と大幅に減少し、化学製品(14.0%)も 2.3%減少したことから、全体では 0.7%の減少となった。

国・地域別では、全体の 5 割超を占める EU(構成比 53.7%)からの輸入は 0.6%増加した。米州(12.1%)からの輸入は横ばい、アジア大洋州(24.0%)からは 2.6%増

表 2 オランダの品目別輸出入<通関ベース>

(単位:100 万ユーロ、%)

	輸出				輸入			
	2015 年		2016 年		2015 年		2016 年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
機械類・輸送用機器	119,781	124,929	28.9	4.3	117,626	121,745	32.0	3.5
化学製品	79,120	77,555	17.9	△2.0	54,380	53,142	14.0	△2.3
食料品および動物	56,615	58,752	13.6	3.8	38,071	38,885	10.2	2.1
鉱物性燃料・潤滑油	56,961	50,475	11.7	△11.4	64,445	54,946	14.4	△14.7
雑製品	45,803	49,160	11.4	7.3	48,395	51,293	13.5	6.0
工業製品(原料別製品)	37,221	38,203	8.8	2.6	37,456	37,787	9.9	0.9
非食品原材料(鉱物性燃料除く)	19,729	19,901	4.6	0.9	13,698	13,095	3.4	△4.4
飲料およびたばこ	6,067	6,918	1.6	14.0	4,154	4,230	1.1	1.8
動植物性油脂	3,465	3,810	0.9	10.0	3,995	4,133	1.1	3.5
その他	2,503	2,641	0.6	5.5	986	1,313	0.3	33.2
合計	427,266	432,342	100.0	1.2	383,205	380,569	100.0	△0.7

〔注〕 EU 域外貿易は通関ベース(輸出 FOB、輸入 CIF)、EU 域内貿易は各企業インボイス報告などに基づく。

〔出所〕 オランダ中央統計局(CBS)

表 3 オランダの主要国・地域別輸出入<通関ベース>

(単位:100 万ユーロ、%)

	輸出				輸入			
	2015 年		2016 年		2015 年		2016 年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU	308,727	311,290	72.0	0.8	203,208	204,482	53.7	0.6
ドイツ	99,222	98,322	22.7	△0.9	65,915	67,202	17.7	2.0
ベルギー	44,585	43,583	10.1	△2.2	38,127	38,044	10.0	△0.2
英国	38,109	39,208	9.1	2.9	21,263	21,626	5.7	1.7
フランス	34,418	35,407	8.2	2.9	16,489	15,273	4.0	△7.4
イタリア	17,695	17,989	4.2	1.7	8,994	9,329	2.5	3.7
スペイン	12,387	12,814	3.0	3.4	7,111	7,263	1.9	2.1
ポーランド	10,232	10,612	2.5	3.7	7,507	7,816	2.1	4.1
ノルウェー	3,817	4,016	0.9	5.2	11,859	8,453	2.2	△28.7
スイス	5,719	5,855	1.4	2.4	2,300	2,690	0.7	17.0
ロシア	4,290	4,449	1.0	3.7	13,982	13,696	3.6	△2.0
トルコ	5,444	5,344	1.2	△1.8	2,529	2,768	0.7	9.5
米州	31,211	31,324	7.2	0.4	46,144	46,131	12.1	△0.0
米国	18,078	17,820	4.1	△1.4	32,575	32,044	8.4	△1.6
カナダ	3,006	3,085	0.7	2.6	1,598	1,407	0.4	△12.0
アジア大洋州	50,279	54,303	12.6	7.9	88,892	91,184	24.0	2.6
中国(香港を除く)	8,545	9,887	2.3	15.7	34,662	34,811	9.1	0.4
日本	3,488	3,352	0.8	△3.9	8,319	7,961	2.1	△4.3
シンガポール	3,998	4,872	1.1	21.9	3,748	4,103	1.1	9.5
マレーシア	1,121	1,199	0.3	7.0	6,707	6,435	1.7	△4.1
韓国	4,209	4,161	1.0	△1.1	2,679	3,142	0.8	17.3
オーストラリア	2,261	2,358	0.5	4.3	990	999	0.3	0.9
アフリカ	14,185	12,016	2.8	△15.3	11,665	8,889	2.3	△23.8
合計(その他含む)	427,266	432,342	100.0	1.2	383,205	380,569	100.0	△0.7

〔注〕 EU 域外貿易は通関ベース(輸出 FOB、輸入 CIF)、EU 域内貿易は各企業インボイス報告などに基づく。

〔出所〕 オランダ中央統計局(CBS)

であった。

EU では、最大の輸入相手国のドイツ(17.7%)が、全体の 3 分の 1 を占める機械類・輸送用機器の 3.7%増、化学製品の 1.2%増により全体で 2.0%増加した。また、英国(5.7%)からも 1.7%増加したものの、ベルギー(10.0%)は 0.2%減、フランス(4.0%)は 7.4%減となった。

EU 域外からは、ロシア(3.6%)が 2.0%減となった。米州地域では、米国(8.4%)からが 1.6%減少した。米国からの輸入では、機械類・輸送用機器(37.3%)が 6.9%増、雑製品(19.0%)が 3.5%増となったものの、化学製品(25.5%)が 9.7%減、鉱物性燃料等(7.2%)が 19.2%減と

なったことが響いた。アジア地域からでは、中国(9.1%)が0.4%増、シンガポール(1.1%)が9.5%増となったものの、日本(2.1%)は4.3%減、マレーシア(1.7%)は4.1%減となった。中国からの輸入の61.2%を占める機械類・輸送用機器のうち、通信・音声記録・再生機器が3.8%増、電気機械・機器が1.5%増、道路用車両が9.8%増となったものの、事務用機器・電算機が5.8%減となり、全体では0.2%とほぼ横ばいだった。

■ 対内、対外直接投資とも増加

オランダ国立銀行によると、2016年の対内直接投資(ネット、フロー)は720億7,100万ユーロだった。国別にみるとドイツからが385億1,000万ユーロ、ルクセンブルクからが244億1,200万ユーロ、スイスからが242億2,100万ユーロであったが、米国と日本はそれぞれ616億3,000万ユーロ、123億8,900万ユーロの引き揚げ超過となった。

米国の半導体大手のクアルコムは2016年10月、IoT向け半導体を強化するため、オランダ半導体大手のNXPセミコンダクターズを470億ドルで買収すると発表した。半導体業界では世界最大の買収となる。フランスの石油大手トタルは同年10月、オランダの特殊化学品部門のアトテックを32億ドルで米国のカーライル・グループに売却することを発表した。

オランダ国立銀行によると、2016年の対外直接投資額(ネット、フロー)は1,263億4,300万ユーロとほぼ前年並みであった。英国向け投資は1,035億2,700万ユーロとなった。一方、ルクセンブルク向けは877億2,800万ユーロ、ベルギー向けは141億6,700万ユーロの引き揚げ超過により、ユーロ圏全体では516億7,400万ユーロの引き揚げ超過となった。

対外直接投資でも大型案件が目立った。保険大手の

表4 オランダの国・地域別対内・対外直接投資
＜国際収支ベース、ネット、フロー＞

(単位:100万ユーロ、%)

	対内直接投資		対外直接投資	
	2015年	2016年	2015年	2016年
	金額	金額	金額	金額
EU	5,042	42,730	△134,945	51,392
ユーロ圏	18,952	26,736	△27,436	△51,674
ベルギー	13,103	△9,068	△1,135	△14,167
ドイツ	14,721	38,510	6,384	15,516
フィンランド	△12	△68	1,765	3,583
フランス	19,376	△315	48	△4,045
アイルランド	12,796	△10,302	△2,759	9,607
イタリア	684	△7,594	△2,756	1,710
ルクセンブルク	△40,366	24,412	△31,288	△87,728
オーストリア	3,608	4,390	4,077	9,949
ポルトガル	△3,695	30	△5,658	△359
スペイン	△1,865	△8,221	△2,845	4,331
非ユーロ圏	△13,910	15,994	△107,509	103,066
ポーランド	366	△346	△48	3,035
ルーマニア	7,989	36	2,517	1,069
英国	△27,318	7,750	△111,205	103,527
スウェーデン	△19	1,334	△927	△3,615
ロシア	△14,013	△977	△3,164	△3,235
スイス	26,667	24,221	458	30,232
ブラジル	13,481	9,632	20,192	17,653
カナダ	△438	5,592	△1,540	△10,522
中国	855	2,127	1,409	138
香港	1,178	2,993	△506	2,222
インド	△125	235	1,611	3,201
日本	946	△12,389	10,646	△3,884
米国	14,968	△61,630	141,992	△5,843
合計(その他含む)	115,780	72,071	122,486	126,343

〔出所〕オランダ国立銀行(DNB)

エイゴンとは2016年5月、米国の資産運用会社ブラックロックから英国の確定拠出年金ビジネスを買収した。買収総額は約150億ユーロで、年金や職場積立など英国の職域貯蓄市場の強化を狙う。半導体露光装置製造販売のASMLは同年6月、台湾の半導体検査装置メーカーのエルメス・マイクロビジョンを27億5,000ユーロで買収し子会社化すると発表した。両社の技術の補完により、製品の統合・強化を行う。ベッド製造・販売のシュテインホフ・インターナショナルは同年8月、米国のマットレス小売のマットレス・ファームを24億ドルで買収すると発表。米国市場の

表5 オランダの主な対内直接投資事例(2016年)

＜M&A＞

業種	被買収企業(事業)		買収企業		時期	投資額	概要
	企業名	企業名	国籍				
半導体	NXPセミコンダクターズ	クアルコム	米国		2016年10月	470億ドル	半導体大手クアルコムがフィリップスの半導体部門だったNXPを470億ドルで買収。
化学	アトテック	カーライル・グループ	米国		2016年10月	32億ドル	フランスの石油会社トタルが特殊化学品子会社アトテックの米国カーライル・グループへの売却を発表。
半導体	NXPセミコンダクターズのスタンダード製品部門	JACキャピタル/ワイズロードキャピタル	中国		2016年6月	27億5,000万ユーロ	半導体NXPセミコンダクターズのスタンダード製品部門を中国金融投資家コンソーシアムへ売却することを合意。
リース	アスロン・カーリース・インターナショナル	ダイムラー・ファイナンス・サービス	ドイツ		2016年7月	11億ユーロ	自動車大手ダイムラーの金融子会社が金融大手ラボバンクの自動車リース部門のアスロンを買収することを合意。
化学	アラリアン・タイヤ・グループ(ATG)	横浜ゴム	日本		2016年3月	11億7,900万ドル	横浜ゴムは農機機械、産業機械用タイヤメーカーATGの持株会社を米国プライベートエクイティから取得することを合意。
不動産	プロパータイズ	ローン・スター・ファンド/JPモルガン	米国		2016年6月	8億9,530万ユーロ	政府は国有化したSNS銀行から分離した不動産会社プロパータイズ株式を米国ローン・スター・ファンドとJPモルガンへ売却すると発表。

〔出所〕各社発表および報道などから作成

表 6 オランダの主な対外直接投資事例(2016年)

＜M&A＞						
買収企業 企業名	被買収企業(事業)			時期	投資額	概要
	業種	企業名	国籍			
エイゴン	金融	ブラックロック	英国	2016年5月	150億ユーロ	エイゴンがブラックロックから確定拠出年金ビジネスを買収することに合意したと発表。
ASML	電機	エルメス・マイクロビジョン	台湾	2016年6月	27億5,000万ユーロ	半導体露光装置メーカーASMLが台湾の半導体検査装置会社を買収すると発表。製品の統合、強化を行う。
シュテインホフ・インターナショナル	ベッド製造・販売	マットレス・ファーム	米国	2016年8月	24億ドル	ベッドメーカーのシュテインホフが同業のマットレス・ファームの買収を発表。米国市場の拡大を目指す。
ASML	光学機器	カール・ツァイス SMT	ドイツ	2016年11月	17億ユーロ	ASMLがカール・ツァイス SMTの株式24.9%を10億ユーロで取得および今後6年間に7億6,000万ユーロの資金提供を発表。半導体リソグラフィ装置の強化を行う。

〔出所〕 各社発表および報道などから作成

拡大を目指す。

■ 対日貿易は輸出入とも減少

オランダ国立銀行によると、2016年の対日輸出額は前年比3.9%減の33億5,200万ユーロ、輸入額は4.3%減の79億6,100万ユーロであった。輸出のうち、再輸出は11.3%増の11億9,200万ユーロと伸びたものの、オランダ産品の輸出が10.6%減の21億8,000万ユーロに減少したため、輸出は減少した。

輸出を品目別にみると、化学製品(構成比23.8%)が3.3%増、医療用機器などを含む雑製品(18.1%)が1.9%増、食料品および動物(14.7%)が8.1%増となったが、機械類・輸送用機器(32.7%)が15.1%減少したことが全体に影響した。輸入では機械類・輸送用機器(69.5%)が5.8%減、雑製品(13.5%)が13.7%減少した。機械類・輸送用機器のうち、電気機械・機器(10.3%)が3.1%増、道路用車両(6.0%)が15.8%増となったものの、事務用機器・電算機(24.1%)が8.4%減、通信・音声記録・再生機器(9.5%)が16.9%減となった。

オランダ国立銀行によると、2016年の直接投資額(ネッ

ト・フロー)では、日本からの対内直接投資は123億8,900万ユーロの引き揚げ超過、日本への対外直接投資も38億8,400万ユーロの引き揚げ超過だった。

投資案件のうち日本企業によるM&Aとしては、アサヒグループホールディングスが2016年2月、英国のSABミラーの欧州4事業の買収をベルギーのアンハイザー・ブッシュ・インベブと合意。これによりオランダのビール事業の持ち株会社のローヤル・クロールシュも買収の対象とし、欧州に基盤を持つことで海外市場の強化を図る。横浜ゴムが同年3月に農機・産業機械用タイヤメーカーATGの持株会社を買収、日本電気硝子が同年6月、米国PPGインダストリーのガラス繊維事業のオランダ子会社を買収した。また、リクルートホールディングスが同年6月、約1,800億円を投じて人材派遣会社のUSGピープルの買収を完了した。

M&A以外ではメガネ製造販売のオンデーズが同年4月、欧州エリア初の小売販売店を開設、三菱マテリアルと阪和興業が同年7月に金銀滓(E-スクラップ)の受入・サンプルの採取・検品のための金銀滓センターの新設を発表した。

表 7 オランダの対日主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位:100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2015年		2016年		2015年		2016年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
食料品および動物	457	494	14.7	8.1	28	43	0.5	51.4
食肉・食肉調製品	93	125	3.7	34.9	13	19	0.2	43.4
酪農品および鳥卵	118	93	2.8	△21.2	11	13	0.2	14.8
野菜・果実	61	81	2.4	31.1	11	12	0.2	14.5
飲料およびたばこ	56	56	1.7	△0.9	655	809	10.2	23.6
非食品原材料(鉱物性燃料は除く)	102	106	3.2	3.5	415	390	4.9	△6.1
化学製品	772	798	23.8	3.3	5,874	5,536	69.5	△5.8
医薬品	513	501	14.9	△2.4	168	160	2.0	△5.1
工業製品(原料別製品)	160	177	5.3	10.6	869	860	10.8	△1.1
機械類・輸送用機器	1,291	1,097	32.7	△15.1	631	623	7.8	△1.2
特定産業用特殊機械類	620	335	10.0	△45.9	2,096	1,919	24.1	△8.4
電気機械・機器その他	215	236	7.0	9.6	1,893	1,686	21.2	△10.9
医療・手術・歯科等電気診断機器	164	186	5.5	13.4	912	758	9.5	△16.9
道路用車両	115	143	4.3	24.1	799	824	10.3	3.1
自動車部品・付属品	57	43	1.3	△23.6	415	481	6.0	15.8
雑製品	595	606	18.1	1.9	1,244	1,073	13.5	△13.7
光学機器・医療用機器・計測機器および制御機器	371	389	11.6	4.8	513	519	6.5	1.3
医療用機器その他	281	311	9.3	10.8	436	316	4.0	△27.5
合計(その他を含む)	3,488	3,352	100.0	△3.9	8,319	7,961	100.0	△4.3

〔出所〕 オランダ中央統計局(CBS)